

発見！本田秋の生物たち！

去る10月30日（金）、大阪市環境事業局からゲストティーチャーをお招きし、生きもの調査秋編にチャレンジしました。

7月20日の調査と同様に、校舎に沿って調べるチーム、給食室の門あたりから石碑があるあたりまで調べるチーム、池があるあたりを中心に調べるチーム、学習園やその周りで調べるチームに分かれ、野草や昆虫など、どんな生き物がいるか調べます。



校舎に沿って、植え込みなどを中心に、どんな生きものがいるか調べています。

4年生は3クラスあるので、午前中は2組、午後は1組と3組に分かれて、この学習に取り組みました。



池があるあたりを中心調査するチーム。



給食室前から石碑までを調べるチーム。



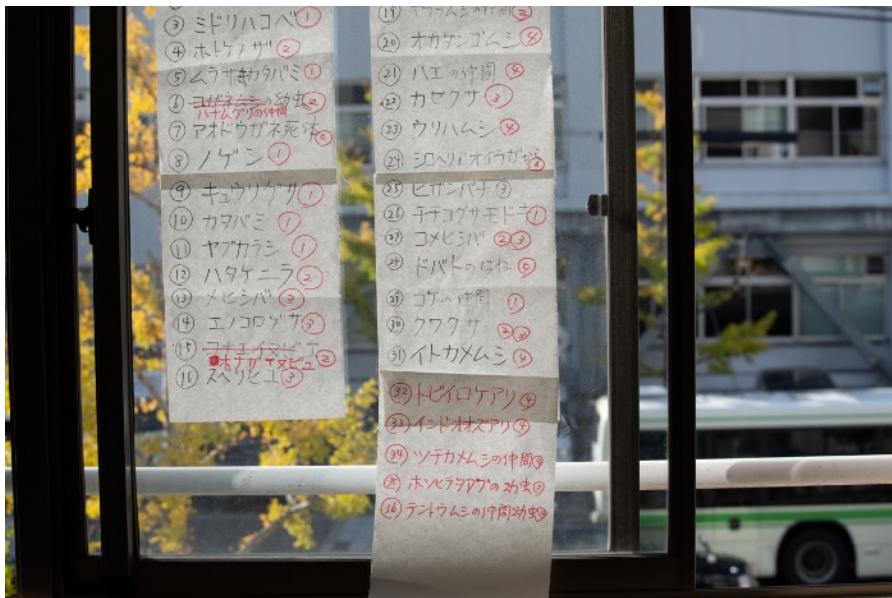
学習園やその周りを中心と一緒に調べるチーム。



見つけた生物は網やピンセットなどを使い、採集し、ケースやポリ袋に入れて、Aシルームに持ち帰って調べます。

暑くも、寒くもなく。いい天気。

子どもたちは、ゲストティーチャーやサポーターの方々の指導のもと、夢中になって生き物を探しました。



見つかった生物の名前を書き出していきます。

夏の生きもの調査では、134種類もの生物が見つかったのだそうです。これは、大阪市内の小学校としては多い方なのだそうです。



今回は105種類。

同じ場所でも、季節によって見られる生物の種類や数が変わるのでですね。



これはヘクソカズラ
グンバイという外来
種の昆虫なのだろう
です。

また、ゲストティーチャーのかたが、見つかった生物の中から変わった生物を、マイクロスコープで拡大してスクリーンに映して説明してくださいました。

近年、「生物の多様性」の大切さが言われるようになってきています。その「生物多様性」の大切さについてのお話を聞き、今日の学習を締めくくりました。

本田小学校の立地条件からして、これほどに多様な生物を観察できるとは思ってもいませんでした。しかしながら、生物はもともと環境に適応して生き抜いていく力を持っています。

この生きもの調査の学習を通して、生物の多様性の大切さに気づくとともに、身の回りに多様な生物がその環境に適応して暮らしていること。ちょっと身の回りに目を向けるだけで、そうした生命の営みに触れることができるということを知ってほしいと思います。